

エコアクション21

環境活動レポート

活動期間 平成30年 6月 1日 ~ 令和元年 5月31日

発行日 令和元年 9月20日



株式会社 昌栄土建興業



エコアクション21[®]
認証番号0007847

目 次

1. 環境方針	・ ・ ・ ・ ・	1
2. 事業内容	・ ・ ・ ・ ・	2
3. 活動組織	・ ・ ・ ・ ・	3
4. 環境目標	・ ・ ・ ・ ・	4
5. 環境活動の取組結果と評価と次年度の取組内容	・ ・ ・ ・ ・	5
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	・ ・ ・ ・ ・	14
7. 経営者による評価の実施	・ ・ ・ ・ ・	15

1. 環境方針

 SHOEI 株式会社 昌栄土建興業

環境方針

< 基本理念 >

当社は、八ヶ岳山麓に位置し、自然と共存するために地球温暖化への対応や、資源の有効利用が重要課題と考えています。

建設業の事業活動及び製品・サービスにおける環境負荷の低減や社会に貢献する現場を目指し、会社一丸となって自主的・積極的に、環境への取組を進めてまいります。

< 行動指針 >

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ① 電力・自動車・建設機械燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 使用材料の省資源、廃棄物の減量、再使用、再生利用の推進
- ③ 原材料及び事務用品のグリーン購入
- ④ 会社、現場周辺の清掃活動の推進

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

制定日

平成22年 11月 1日

代表取締役社長

清水昌敏

2. 事業内容

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社 昌栄土建興業

代表取締役社長 清水 昌敏

(2) 所在地

本社 〒391-0105

長野県 諏訪郡 原村 8 9 2 3 番地 1

TEL 0266-79-5349 (代)

FAX 0266-79-5433

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 工事部 大蔵 守

環境事務局 工事部 宮入 圭佑

環境管理担当者 総務部 増田 由美子

連絡先 上記、所在地

(4) 事業内容

土木工事の施工及び設計・管理

建設業許可 長野県知事許可 特-19 第14475号

土木、とび・土工、舗装、造園工事業

(5) 事業の規模

	単位	平成21年度	平成29年度	平成30年度
売上高	百万円	690	579	513
職員数	人	8	25	22
事業所総面積	m ²	502.4	502.4	502.4

※基準年度

(6) 事業年度 6月～5月

□認証・登録の対象組織・活動

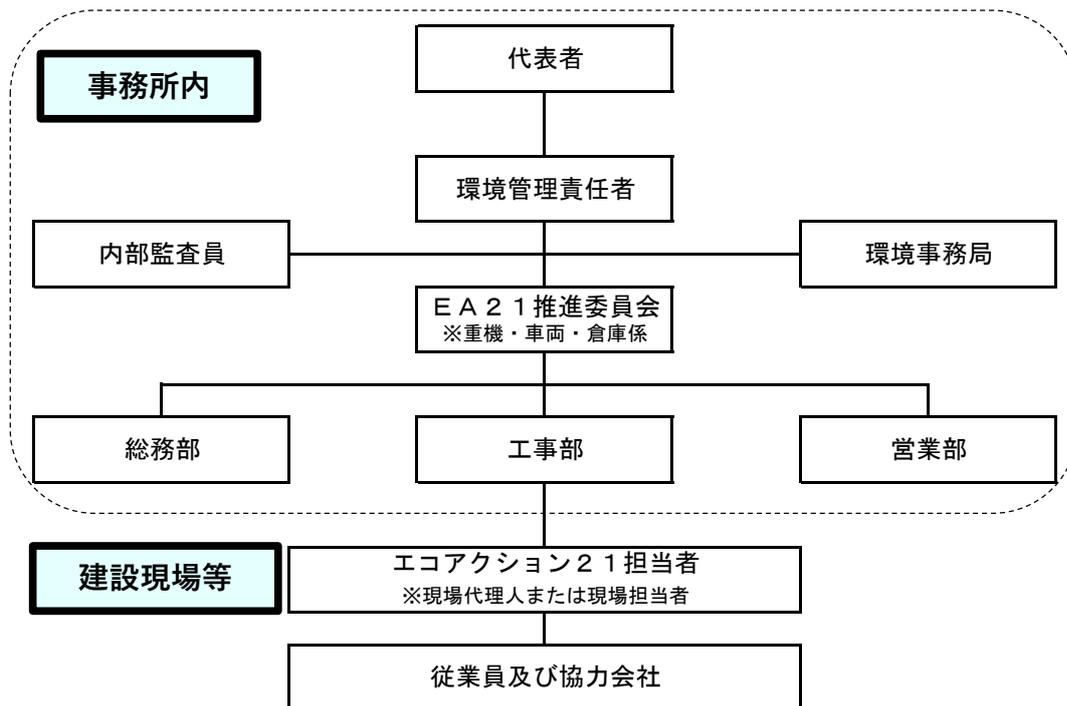
登録組織名： 株式会社 昌栄土建興業

活動： 土木、とび・土工、舗装、造園工事業

○全組織 ○全活動

3. 活動組織

【実施体制図】



	役割・責任・権限
代表者 (社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標・環境活動計画書を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境活動レポートの承認
環境管理 責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ票を承認 環境目標・環境活動計画書を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境活動レポートの確認
環境 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、E A 2 1 推進委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境目標・環境活動計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務所への送付)
内部 監査員	<ul style="list-style-type: none"> 環境活動計画内容の確認 環境活動の取組状況の確認
EA21推進 委員会	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 環境目標

※下記、「中期目標」は3年、「長期目標」は5年を目安とする。

環境目標		目標 数値	活動内容
二酸化炭素排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量の削減		事務所内の部分消灯 倉庫内必要時点灯 空調温度の適正化 省エネタイプ電灯の導入（中期目標） 太陽光発電の導入（中～長期目標）
	基準値(平成21年度) 19.68 kg-CO2/百万円(100%)	基準値からの削減率 -10%	
	目標値(平成30年度) 17.71 kg-CO2/百万円(90%)		
	目標値(中期・令和3年度) 14.76 kg-CO2/百万円(75%)		
	目標値(長期・令和5年度) 13.78 kg-CO2/百万円(70%)		
※売上高比による。 ※排出係数 中部電力 H29年度 0.485kg-CO2/kWh			
自動車・建設機械の二酸化炭素排出量の削減	自動車・建設機械の二酸化炭素排出量の削減		アイドリングストップ 現場最小限の配車 現場最短距離の選定 エコカーの導入（中期目標） エコカーの増台（中～長期目標）
	基準値(平成26年度) 309.28 kg-CO2/百万円(100%)	基準値からの削減率 -20%	
	目標値(平成30年度) 247.42 kg-CO2/百万円(80%)		
	目標値(中期・令和3年度) 231.96 kg-CO2/百万円(75%)		
	目標値(長期・令和5年度) 216.50 kg-CO2/百万円(70%)		
※売上高比による。 ※排出係数(ガソリン) 0.0671kg-CO2/MJ ※排出係数(軽油) 0.0687kg-CO2/MJ			
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減		分別の徹底 社内資料の裏紙使用 両面コピーの利用
	基準値(平成21年度) 0.90 t(100%)	基準値からの削減率 -30%	
	目標値(平成30年度) 0.63 t(70%)		
	目標値(中期・令和3年度) 0.60 t(67%)		
	目標値(長期・令和5年度) 0.50 t(56%)		
産業廃棄物の削減	産業廃棄物の削減		計画的な資材購入・使用 分別解体・再利用の徹底
	基準値(平成21年度) 2.45 t/百万円(100%)	基準値からの削減率 -20%	
	目標値(平成30年度) 1.96 t/百万円(80%)		
	目標値(中期・令和3年度) 1.84 t/百万円(75%)		
	目標値(長期・令和5年度) 1.72 t/百万円(70%)		
※売上高比による			
環境への配慮	事務用品のグリーン購入		対象商品の調査・購入
	基準値(平成21年度) 28.30%(100%)	購入比率 2.5倍	
	目標値(平成30年度) 70.75%(250%)		
	目標値(中期・令和3年度) 70.75%(250%)		
	目標値(長期・令和5年度) 70.75%(250%)		
※全事務用品に対する購入比率			
社会貢献等	会社・現場周辺の清掃	—	会社・現場近隣の清掃、草刈り等
	工事現場における環境配慮		排対型等、環境対策建設機械の利用
	諏訪湖の生物多様性改善事業への参加		諏訪湖の水辺環境整備(草刈・清掃) 諏訪湖より除去された水草(ヒシ)の受入・処分(堆肥化)
	※数値目標は設けず各現場において環境に配慮する		

5. 環境活動の取組結果と評価と次年度の取組内容

様式1-1-5-1

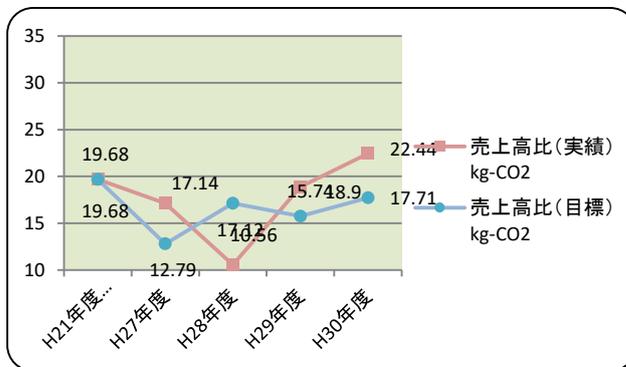
1) 取組の結果及び評価

1. 二酸化炭素排出量の削減

1-1 電力の二酸化炭素排出量の削減

※二酸化炭素排出係数 中部電力 H29年度 0.485kg-CO2/kWh

項目	単位	H21年度 (基準年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	摘要
実績値	kWh	28,891	18,874	18,874	21,328	23,736	
	kg-CO2	13,579	9,682	9,453	10,941	11,512	
売上高	百万円	690	565	895	579	513	
売上高比(実績)	kg-CO2	19.68	17.14	10.56	18.9	22.44	
実績比率	%	100.0%	87.1%	53.7%	96.0%	114.0%	
売上高比(目標)	kg-CO2	19.68	12.79	17.12	15.74	17.71	
目標比率	%	100.0%	65.0%	87.0%	80.0%	90.0%	



《取組みの結果》 **未達成**

《評価・次年度の取組》

昨年度より上昇傾向であった消費電力が23,736kWhとさらに上回った。

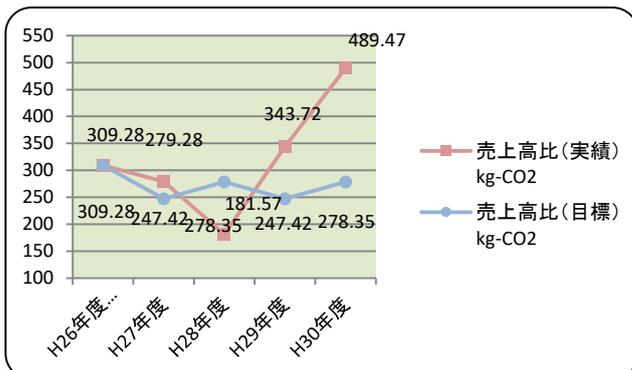
要因としては排水ポンプ等を使用する現場が多く仮設電力の購入が増加したためと思われる。

現場でもより一層の節電を心掛け、さらに売上高の上昇を目指す。

1-2 自動車・建設機械の二酸化炭素排出量の削減

※排出係数(ガソリン) 0.0671kg-CO2/MJ、(軽油) 0.0687kg-CO2/MJ

項目	単位	H26年度 (基準年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	摘要
実績値(ガソリン)	L	17,937	15,230	16,641	19,738	29,284	
実績値(軽油)	L	71,930	46,749	47,199	58,373	78,620	
実績値(合算)	kg-CO2	230,413	158,044	162,501	199,016	251,096	
売上高	百万円	745	565	895	579	513	
売上高比(実績)	kg-CO2	309.28	279.28	181.57	343.72	489.47	
実績比率	%	100.0%	90.3%	58.7%	111.1%	158.3%	
売上高比(目標)	kg-CO2	309.28	247.42	278.35	247.42	278.35	
目標比率	%	100.0%	80.0%	90.0%	80.0%	90.0%	



《取組みの結果》 **未達成**

《評価・次年度の取組》

ガソリンの消費量は例年より若干多く、軽油が昨年度より約20,000ℓ多く使用している。

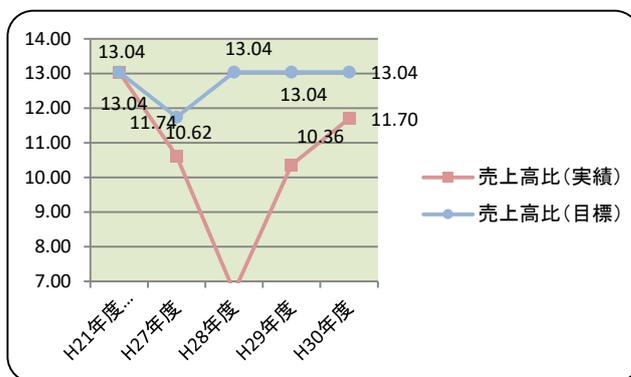
要因として遠方の現場が多く燃料の消費が増加したものと思われる。

マイクロバスを有効利用した乗り合わせ、アイドリングストップ等現場でやれることを徹底し、さらに売上高の上昇を目指す。

2. 廃棄物の削減

2-1 一般廃棄物の削減

項目	単位	H21年度 (基準年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	摘要
実績値	t	0.9	0.6	0.6	0.6	0.6	
売上高	百万円	690	565	895	579	513	
売上高比(実績)		13.04	10.62	6.70	10.36	11.70	
実績比率	%	100.0%	81.4%	51.4%	79.4%	89.7%	
売上高比(目標)		13.04	11.74	13.04	13.04	13.04	
目標比率	%	100.0%	90.0%	100.0%	100.0%	100.0%	



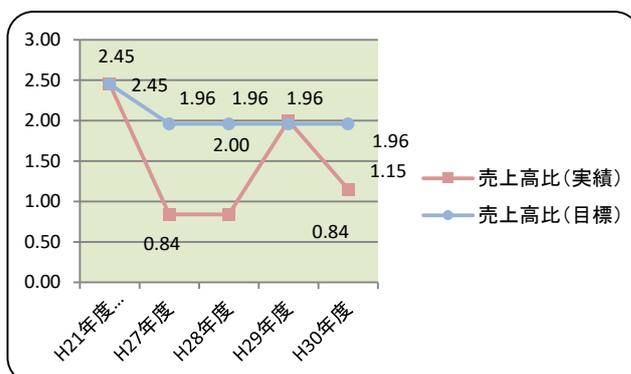
《取組みの結果》 **達成**

《評価・次年度の取組》

分別の徹底、裏紙の利用など、今後も継続してゆく。

2-2 産業廃棄物の削減

項目	単位	H21年度 (基準年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	摘要
実績値	t	1,690	548	747	1,158	592	
売上高	百万円	690	565	895	579	513	
売上高比(実績)		2.45	0.84	0.84	2.00	1.15	
実績比率	%	100.0%	34.3%	34.3%	81.6%	46.9%	
売上高比(目標)		2.45	1.96	1.96	1.96	1.96	
目標比率	%	100.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	



《取組みの結果》 **達成**

《評価・次年度の取組》

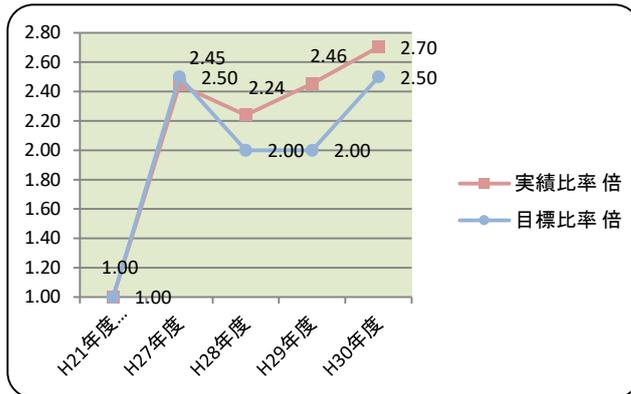
産業廃棄物量に関しても現場の規模、内容により大きく左右される。
今後も適正な処分に努める。

3. 製品及びサービス

3-1 事務用品のグリーン購入

※全事務用品に対する購入比率

項目	単位	H21年度 (基準年度)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	摘要
実績値(購入比率)	%	28.30	69.20	63.40	69.49	76.50	
実績比率	倍	1.00	2.45	2.24	2.46	2.70	
目標値(購入比率)	%	28.30	70.75	56.60	56.60	70.75	
目標比率	倍	1.00	2.50	2.00	2.00	2.50	



《取組みの結果》 達成

《評価・次年度の取組》
今後も維持継続に努める。

3-2 工事現場における環境配慮

※数値目標は設けず各現場において環境に配慮する



アスファルトフィニッシャーHA60W：従来はLPガスを用いたアイロンへの加熱を電気制御で行い、CO2排出量を軽減する。



待機燃費低減システム搭載油圧ショベル

ソーラー式保安用品



現場事務所 及び 休憩所

4. 社会貢献



工事現場周辺の清掃活動



工事現場周辺の清掃活動



工事現場周辺の農業用水路清掃

工事現場周辺の通学路に塩カルを散布



建設業協会主催の諏訪湖周辺環境整備活動

2) 取組の状況



事務所内の部分消灯



空調温度の適正化



社内資料の裏紙使用



グリーン購入対象商品の調査・購入



アイドリングストップ



教育・訓練（一般教育）



教育・訓練（緊急事態・心肺蘇生）



教育・訓練（緊急事態・消火訓練）

3) 諏訪湖で除去された水草（ヒシ）の受け入れ

弊社では長野県諏訪建設事務所が諏訪湖水質保全計画に基づき、増えすぎたヒシへの対策として専用船で除去したヒシを自社の堆肥化施設で受け入れ、効果的な処分方法として堆肥化を行っています。

環境の保全と循環、自然エネルギーの活用として諏訪地域全域の生物多様性に関わる事業の一端を担っています。



①刈取り状況



②陸揚げ



③乾燥・分別



④堆肥化施設への搬入



⑤大豆皮散布



⑥堆肥化完了



体験学習会



信越放送「エコゾ-最前線」で紹介されました。

4) エコカーの導入



アクア ・ プリウス



カローラフィールダー

《燃料使用量の比較》

※年間走行距離が概ね同様の弊社所有車両における燃料使用量の比較

①サクシード 年間走行距離：18,203km 燃費(カタログ値)：18.2km/L 年間燃料使用量：1000L

②プリウス 年間走行距離：18,361km 燃費(カタログ値)：30.4km/L 年間燃料使用量：604L

年間燃料使用量の差 ① - ② = 396L/1台当り

◎二酸化炭素排出の年間削減量 $(396L \times 3台) \times 0.0671 \times 34.6 = 2,758kg-CO2$

5) 太陽光発電の導入

5)-1 事務所設備

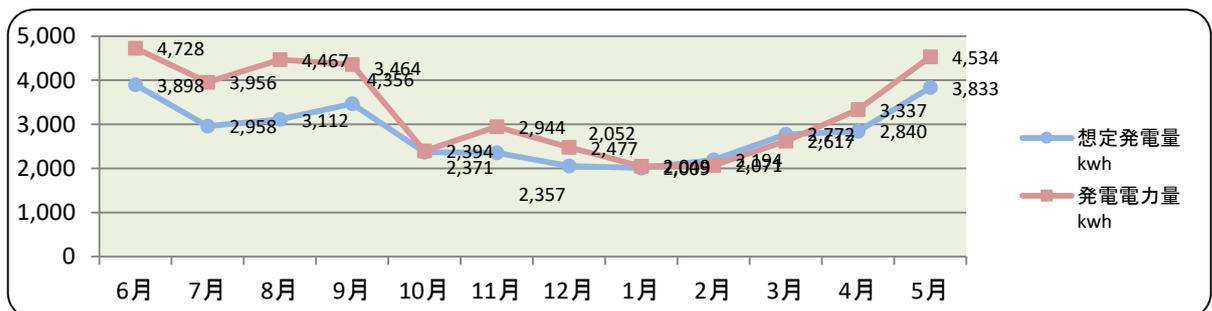


社屋



倉庫

項目	H30							H31 (R01)					計
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
想定発電量 (kwh)	3,898	2,958	3,112	3,464	2,371	2,357	2,052	2,009	2,194	2,772	2,840	3,833	33,860
発電電力量 (kWh)	4,728	3,956	4,467	4,356	2,394	2,944	2,477	2,049	2,071	2,617	3,337	4,534	39,930

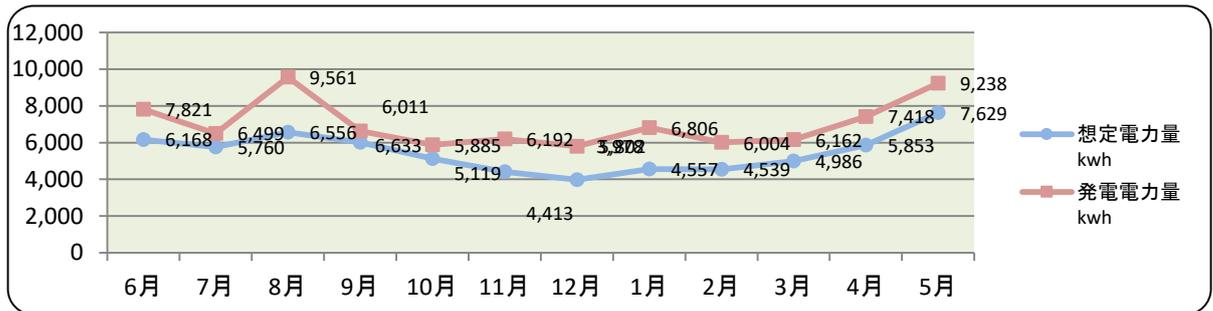


◎二酸化炭素排出の年間削減量 $39,930kwh \times 0.485 = 19,366kg-CO2$

5)-2 塩水地区発電所



項目	H30						H31 (R01)					計	
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		5月
想定発電量 (kwh)	6,168	5,760	6,556	6,011	5,119	4,413	3,978	4,557	4,539	4,986	5,853	7,629	65,569
発電電力量 (kWh)	7,821	6,499	9,561	6,633	5,885	6,192	5,802	6,806	6,004	6,162	7,418	9,238	84,021



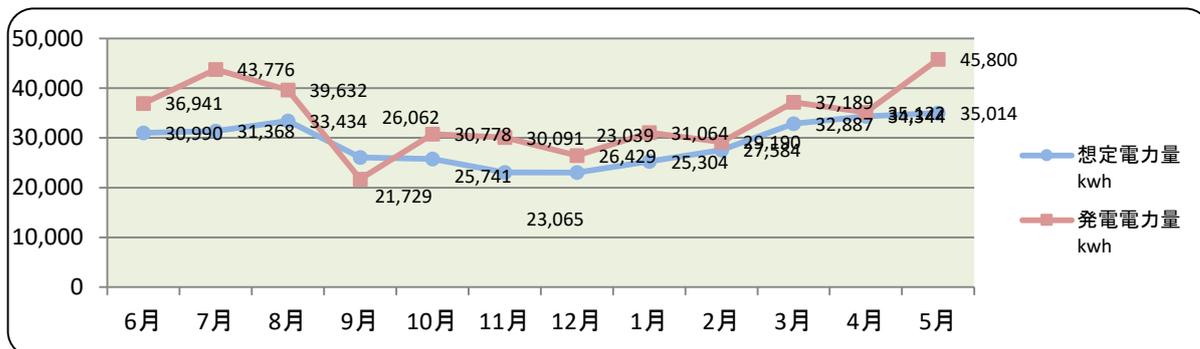
◎二酸化炭素排出の年間削減量 $84,021\text{kWh} \times 0.485 = 40,750\text{kg-CO}_2$

5)-3 富士見地区発電所



項目	H30						H31 (R01)					計	
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		5月
想定発電量 (kwh)	30,990	31,368	33,434	26,062	25,741	23,065	23,039	25,304	27,584	32,887	34,344	35,014	348,832
発電電力量 (kWh)	36,941	43,776	39,632	21,729	30,778	30,091	26,429	31,064	29,190	37,189	35,122	45,800	407,741

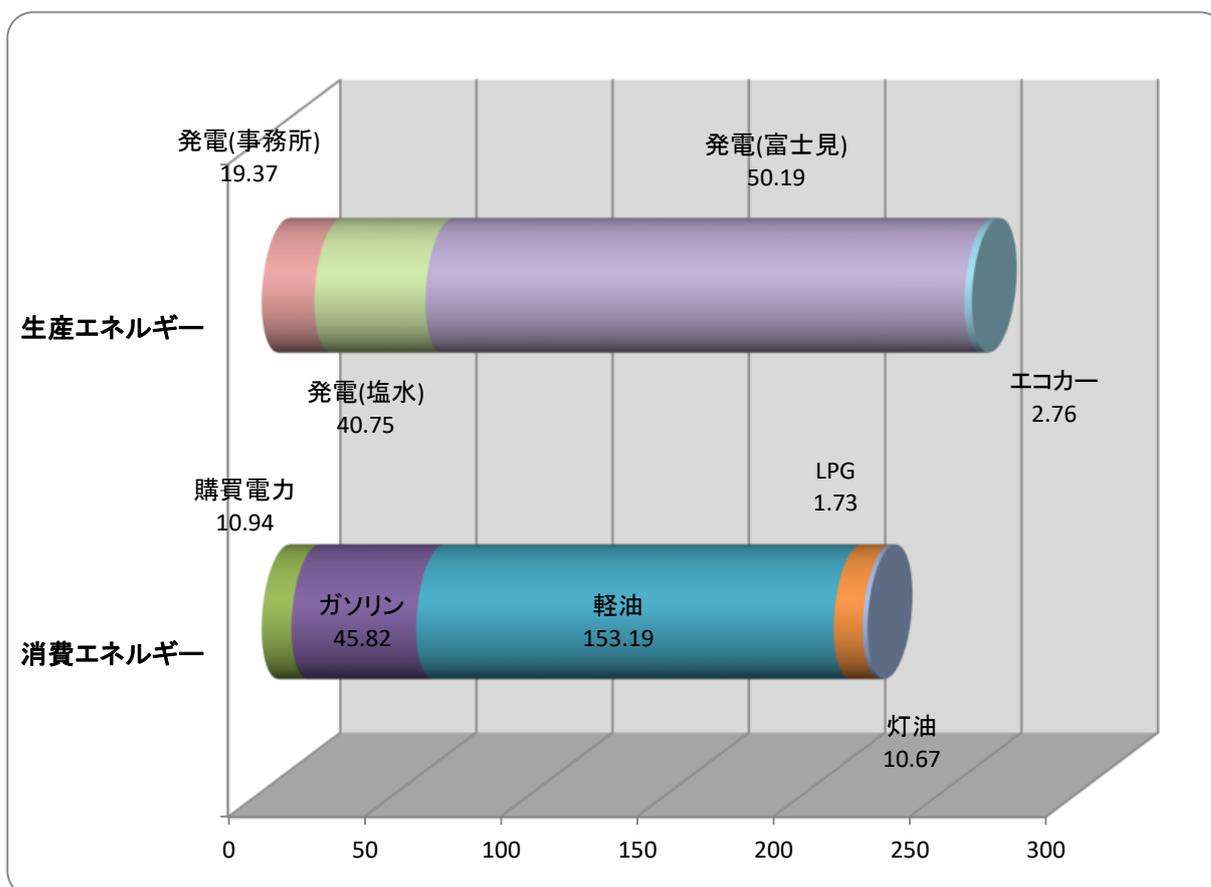
5)-3 富士見地区発電所



◎二酸化炭素排出の年間削減量 $407,741\text{kwh} \times 0.485 = 197,754\text{kg-CO2}$

6) 再生可能エネルギー利用の環境負荷について (カーボン・ニュートラル試算)

区 分	購買電力	ガソリン	軽油	灯油	LPG	発電事務所	発電塩水	発電富士見	エコカー	計	
消費エネルギー	10.94	45.82	153.19	10.67	1.73					222.35	ton-CO2
生産エネルギー						19.37	40.75	197.75	2.76	260.63	ton-CO2



6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社の事業活動に伴い適用される環境関連法規等は、次のとおりです。

法規制等の名称	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の管理、排出	遵守
建設リサイクル法	対象建設工事の届出、再資源化等の実施・報告・記録の作成	遵守
騒音規制法	対象特定建設業の届出、規制等の遵守	該当なし
振動規制法	対象特定建設業の届出、規制等の遵守	該当なし
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程	排出ガス対策型建設機械の使用	遵守
低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程	低騒音型・低振動型建設機械の使用	遵守
道路交通法	道路の使用の許可	遵守
水質汚濁防止法	油流出時の応急措置、届出	該当なし

環境関連法規等への違反及び関係当局による違反等の指摘は、現在及び過去3年間ありません。

内 容	過去 3年間の結果
法律違反の有無	無し
訴訟の有無	無し

7. 経営者による評価の実施

本年度は弊社が掲げている環境に関する主要4項目(二酸化炭素排出量の削減、廃棄物の削減、製品及びサービス、社会貢献)の内、二酸化炭素の排出量が目標未達成となりました。

電力、燃料共に建設現場における消費量の増加が起因しており、さらに売上高の減少により未達成となっていました。

今後は太陽光発電やエコカーの追加導入、現場においても排出ガスに考慮した建設機械やソーラー発電の保安用品の活用、現場における削減方法の模索、取組の強化を実践し、環境に対する活動を継続していきます。

また、弊社施設による諏訪湖に繁殖したヒシの受入れから堆肥化を行う事業においては諏訪地域全域の生物多様性に関わる事業の一端を担っていきます。

環境の保全と循環、自然エネルギーの活用を目指し、環境活動のさらなる継続及びさらに環境を意識した運営・活動を会社全体で続けていきます。

令和 元年 6月 20日

 SHOEI 株式会社 昌栄土建興業

代表取締役社長

清水 昌敏 